

Bellflower



神戸薬科大学

図書館ニュース

No.28 2002. 10

ブックガイド

(新着資料から)

看護のための最新医学講座

全36巻

中山書店, 2001~

492.908
Kan

新しい医学的発見が非常な勢いでなされ、医師をはじめとする医療従事者は、絶えざる学習と研鑽を強いられている。最近では生化学的な観点から、病態の解明と治療法の開発が進んでおり、さらには遺伝子工学的な技法の発展により、遺伝子治療や再生医療の一般化が目前となっている。このような中であって、最先端の臨床医学情報は、今や医師だけの独占物ではなく、看護師(「看護婦」から「看護師」に呼称が変わりました)をはじめとする、いわゆる「コメディカル」にも等しく提供されるべきものとなった。従来、看護向けのテキストは、記述が簡略に過ぎるものがあり、基礎的な「解剖・生理学」と、実際の臨床的知識の間のギャップが問題となっていた。このギャップを埋めるべく編纂されたものが本シリーズであり、全36巻という大部をなしている。内容は平易に記述され、カラーの図表や組織写真が豊富に掲載されており、欄外のキーワードも読みやすい。薬物治療に関してもページが割かれており、大規模臨床試験など、新しい疫学的研究の成果も記載されている。執筆者は各項目の専門医であり、自分の研究フィールドの極めて新しい知見も織り込むなど、看護以外の医療従事者にとっても、学ぶところは多い本と言えるだろう。

平井みどり 記

<ビデオ>

Master Spoken English

全9巻

Speech Masters, 1997

831.1
Spe
109134~
109142

このビデオは「英語の正しい、あるいは良い発音」を徹底した繰り返し練習により習得させるための教材である。英語のタイトル『Master Spoken English』からは日常会話の場面練習を想像するが、内容はもっぱら「標準口語アメリカ英語の発音」訓練である。主眼は、単に練習用単語の羅列と発音ではなく、あくまでも個々の音(母音、子音)や音連続の物理的属性を理解すると同時に、その響きを感覚的に経験して、自分の発音に反映させる方法である。この方法は言語教授法では「phonics(音響学)」と呼ばれ、附属テキストの副題は「感じる音響学(Feeling Phonics)」となっている。

9巻よりなる教材には、母音、子音を始め、抑揚とリズムなどの項目が配列され、テキストには効果的練習の方法までが述べられていて、いかにもアメリカ製の教材らしい。口を正確に動かし、適切な音量で英語独特の母音、子音を基礎から訓練するには適切な教材であるが、問題は、平均して口の開け方が小さく、また発音の音量も比較的少ない日本人が、どの程度英語音を意識して出せるかである。Gene Zerma先生の説明を聞き、絶えず口の開きと音の響きを意識した訓練によって自分の発音を英語的な響きに改造するのも楽しい試みだろう。

田中研治 記

目

次

ブックガイド(新着資料から)平井みどり・田中研治...1
ブックガイドpart2(専門分野別)小林典裕.....2
受入図書から.....3~5
電子ジャーナルとコンソーシアム.....6

相互貸借システムについて.....7
SciFinder Scholarを利用して 山根育郎.....7
薬剤師のためのDI資料(11)長嶺幸子.....8
お知らせ.....8

ブックガイド part 2 (専門分野別)



薬学生に薦める “分析化学の本”

分析化学研究室 教授 小林 典裕

分析化学、物理化学など、いわゆる物理系薬学の教科を苦手とする学生が、薬学部には少なくない。本校も例外ではないだろう。この機会に、学生諸氏の学習意欲と効率を高め、分析アレルギー(?)の軽減に役立ちそうな書籍を推薦する。院生以上に向く専門書についても、私の“お気に入り”をいくつか紹介したい。

分析化学の諸細目のなかでも、容量分析(滴定)を主体とする「定量分析化学」は、学生にとってとりわけ悩みの種であろう。本校で教科書(本年度は指定参考書)としても活用してきた百瀬勉著、『定量薬品分析』(第7改稿版; 廣川書店)を、今一度推薦する。装丁、書面とも地味であるが、読めば読むほど味わいの深い不朽の名著。薬局方に準拠しているうえ、化学平衡など理論の部分が難解に過ぎず、非水滴定(医薬品分析でウエイトが大きい)に十分なページを割いている点で、国家試験に取り組む薬学生に適している。宇野文二ら著、『定量分析化学』(第5版; 丸善)は前著の流れを汲む内容で、天秤の解説にみられるように、よりモダンなアレンジ。その一方、酸塩基平衡の取り扱いなど、やや難解な印象を受ける。化学平衡をより深く学んでみたい、という学生には、姫野貞之・市村彰男著、『溶液内イオン平衡に基づく分析化学』(化学同人)と河島拓治ら編、『ポイント分析化学演習』(廣川書店)を薦めている。理工学部向きの内容で、上記の書では省略されている複雑な平衡問題についても計算例が豊富に示されている。

「定性分析化学」の学習には、再び百瀬勉先生の名著、『有機分析』(第6改稿版; 廣川書店)を推す。有機化合物の官能基分析なら、まずこの本、と思う。研究を志す学生、院生には通読を薦める。石館守三監修・田村善蔵編著、『反応分析化学』(南山堂)は、定性のみならず定量分析も扱うオールラウンドな内容で、無機イオン分析に多くのページを割いているのが特色となっている。

「機器分析化学」に関しても多数の良著が出版されている。

まず、機器による構造解析が“難しい、身に付かない”と嘆く学生諸氏に、竹内敬人著、『有機化合物の構造をきめる』(化学同人)の通読を薦める。よくあるデータブックとは異なり、NMR、MS、IR、UVの最小限のデータで最大の構造情報を得る実践的な方法が、演習形式で着実に身に付く。¹³C-NMRの活用に重点が置かれ、本法の入門書としても好適。HPLCは今日どの研究領域でも不可欠で、理論もさることながら実用上のノウハウを要領良く習得することも重要であろう。松下至著、『液体クロマトグラフィー100のテクニク』(技報堂出版)、中村洋監修、『液クロ虎の巻』(筑波出版会)は、一般の研究員にもおすすめ。MS、NMRでは、志田保夫ほか著、『これならわかるマススペクトロメトリー』、安藤喬志・宗宮創著、『これならわかるNMR』(共に化学同人)が面白い。基本の原理はもちろん新しいイオン化法やパルステクニックが、効果的な図表により判りやすくまとめられている。

ヒトゲノムプロジェクトに代表される最先端の生命科学においても分析化学は貢献している。この分野からは、平野久著、『プロテオーム解析 - 理論と方法 - 』(東京化学同人)を挙げておく。ポストゲノム研究といわれるプロテオーム解析の基盤となる各種分析技術が判りやすく解説されている。その他、分析化学の応用面に力点を置く一般向けの読み物として、河合潤・樋上照男編、『はかってなんぼ - 分析化学入門 - 』(丸善)を推薦する。“ダイオキシンをどうはかる”、“マイクロ化がひらく新しい分析化学”、など興味をひく15の話題がコンパクトにまとめられている。大八木義彦著、『ppmへの挑戦 - 分析化学の力と役割 - 』(講談社ブルーバックス)もよい。

紹介したい本はまだまだあるが、これらの書籍が、学生諸氏にとって、「分析化学」に積極的に取り組む契機となることを期待している。

2001年(平成13年)10月~2002年(平成14年)3月

受入図書から

【和 書】

分類番号 (総記)	図書記号	書名	著者名	出版社
007.57	Kos	インターネット検索術	小坂貴志	研究社出版
007.6	Der	ダートウソス教授のIT学講義		翔泳社
010.4	Oda	図書館逍遥	小田光雄	編書房
019	Tat	ばくが読んだ面白い本・ダメな本そしてばくの大量読書術・驚異の速読術	立花隆	文藝春秋
(哲学、心理学など)				
104	Oba	私という迷宮	大庭健	専修大学出版局
141.51	Iti	勉強法が変わる本	市川伸一	岩波書店
145.1	Che	精神分析学の誕生	L.シェルトーク他	岩波書店
146.8	Hor	感じない子どもころを扱えない大人	梶岩奈々	集英社
159	Sak	理系のための恋愛論	酒井冬雪	毎日コミュニケーションズ
(歴史、伝記、紀行など)				
203.3	Nis	角川世界史辞典	西川正雄他編	角川書店
235.064	Ada	ナポレオンを創った女たち	安達正勝	集英社
236	Ike	スペイン・ポルトガルを知る事典 新訂増補	池上孝夫他監修	平凡社
281	Him	二人のヨーロッパ	姫路文学館編	姫路文学館
281.04	Ima	プロジェクトX	今井彰	文藝春秋
289.1	Wad	豊田喜一郎伝	和田一夫他	トヨタ自動車
289.3	Gho	ルネッサンス	カルロス・ゴーン	ダイヤモンド社
289.3	Kub	人生は廻る輪のように	エリザベス・キューブラー・ロス	角川書店
289.3	Wil	自閉症だったわたしへ	ドナ・ウィリアムズ	新潮社
(政治、経済、社会、教育など)				
302.27	Miy	現代イスラムの潮流	宮田律	集英社
317.22	Tos	機密費	歳川隆雄	集英社
331.04	Koz	サイバー経済学	小島寛之	集英社
338.18	Sim	財産を無くす人、財産を残せる人	清水洋	アスカ・エフ・プロダクツ
361.4	Sak	価値の社会学	作田啓一	岩波書店
361.6	Lep	三つの文化	ヴェルフ・レベニス	法政大学出版局
364.6	Kod	はじめての年金・医療保険	児玉美穂	集英社
369.3	Ros	リスクセンス	ジョン・F.ロス	集英社
371.41	Sai	「できる人」はどこがちがうのか	斎藤孝	筑摩書房
371.45	Ume	子どもの心に耳をすませ	梅村浄	岩波書店
377.04	Isi	啓く拓く開く	石川啓	関西大学出版部
(化学、医学、薬学など)				
407	Kam	なっとくする科学英会話	亀井エリザベス	講談社
426.5	Kog	なっとくする演習・熱力学	小暮陽三	講談社
426.5	Tuz	なっとくする熱力学	都築卓司	講談社
429	Sat	“放射能”は怖いのか	佐藤満彦	文藝春秋
430	Aos	ライフサイエンス基礎化学	青島均他	化学同人
430.7	Kam	アメリカへ博士号をとりにいく	鎌谷朝之	化学同人
432	Wat	化学ラボガイド	渡辺正編著	朝倉書店
433.036	Nip	分析化学便覧 改訂5版	日本分析化学会編	丸善
437	Hug	有機量子化学	藤本博編著	朝倉書店
437	McM	有機化学 第5版 上・中・下	John McMurry	東京化学同人
437.075	Tan	実験室の笑える?笑えない!事故実例集	田中陵二他	講談社
460.4	Hir	バイオ研究室の表と裏	J.M.W.スラック	新思家社
460.4	Kai	開高健の博物誌	開高健	集英社
460.7	Asa	Dr.Asaのニッポンのバイオ研究者海外ラボをゆく	浅原孝之	羊土社
460.75	Zik	クローズアップ実験法総集編		羊土社
467.25	Oto	バイオ実験超基本Q&A		羊土社
467.3	Dav	ゲノムを支配する者は誰か	大藤道衛	日本経済新聞社
467.3	Str	ヒトの分子遺伝学 第2版	ケヴィン・ディヴィーズ	メディカル・サイエンス・インターナショナル
471.3	Ogu	植物解剖および形態学	Tom Strachan他	養賢堂
490.14	Hir	心の潜在カプラーポ効果	小倉謙	朝日新聞社
490.14	Yan	医療のなかの心理臨床	広瀬弘志	新曜社
490.14	Yos	医者と患者	矢永由里子編	岩波書店
490.15	Bur	遺伝子革命と人権	吉松和哉	岩波書店
490.15	Sud	こんな死に方してみたい	ジャスティン・パーリー編	DHC
490.15	Ve	薬剤師のための倫理	須田治	角川書店
490.15	Yan	いのちの始まりと終わりに	ロバート・M.ヴィーチ他	南山堂
490.31	Nai	大同薬室文庫蔵書目録	柳澤桂子	草思社
490.33	Isi	最新・医学略語辞典	内藤記念くすり博物館編	内藤記念くすり博物館
490.4	Ham	ベストセラーで読み解く医療情報ナビ	石本二見男監修	第一メディアカル
490.4	Tok	臨床医のノート	浜田康次	南山堂
490.7	Kai	JAMA医学文献の読み方	徳永進	エム・イー振興協会
491.1	Ito	ナースのための解剖学	開原成允他監訳	中山書店
491.1	Mat	レオナルド・ダ・ヴィンチ解剖図集:新装	伊藤隆	南山堂
491.31	Sug	からだを創る	松井喜三編集・解説	みすず書房
491.31	Sug	環境を活かす	菅原努他編	昭和堂
491.4	Kag	ナースのための生化学・栄養学 第3版	菅原努他編	昭和堂
491.455	Oka	ビタミンDと疾患	香川靖雄他	南山堂
491.5	Azu	「クスリに弱いヒト」と「困ったクスリ」たち	岡野登志夫編	医薬ジャーナル社
491.5	Oka	楽しい薬理学	束純一	じほう
491.5	Saw	薬の神経・精神に対する副作用	岡部進	南山堂
491.5	Saw	薬物動態・作用と遺伝子多型	澤田康文	南山堂
491.5	Suz	MRのための医薬品副作用情報学	澤田康文企画・編	医薬ジャーナル社
491.5	Yam	薬物代謝学辞典	鈴木伸二	薬事日報社
491.59	Tua	事件からみた毒	山本郁男編著	廣川書店
491.65	Sak	発ガン物質のはなし	Anthony T.Tu編著	化学同人
491.69	Yan	ヒトゲノムとあなた	酒井弥	技報堂出版
491.7	Miz	ナースのための微生物学 第3版	柳澤桂子	集英社
491.8	Abo	医療が病をつくる	水口康雄他	南山堂
			安保徹	岩波書店

492	Iry	消化管・腹膜疾患/肝・胆・膵疾患 第1版	岡庭豊編	Medic Media
492	Iry	イメージするからだのしくみ	福田英一	Medic Media
492	Nip	クリニカル・エビデンス日本語版	日本クリニカル・エビデンス編集委員会監修	日経BP社
492	Wei	人はなぜ治るのか 増補改訂版	アンドルー・ワイル	日本教文社
492.03	Mer	メルクマニュアル第17版 日本語版	マーク・H・ピアーズ他英語版編	日経BP社
492.1	Kaw	基準値と異常値の間 改訂5版	河合忠編	中外医学社
492.3	Isi	補訂医師・薬剤師のためのクスリの使い方と説明	石川晋介他編集・執筆	医歯薬出版
492.3	Loc	ホメオパシーハンドブック	アンドリュー・ロッキー	Medic Media
492.3	Nip	薬物療法と相互作用	日本薬剤師研修センター編	薬事日報社
492.927	Hir	ナースのための神経内科学 第2版	平井俊策編	南山堂
493	Ryu	内科 第5版	劉展謀編著	新興医学出版社
493.09	Nak	心療内科初診の心得	中井吉英	診療新社
493.1	Ino	疲労の科学	井上正康他編	講談社
493.123	Kas	糖尿病のとらえかた	春日雅人編	文光堂
493.18	Tat	生活習慣病とその治療薬	橘敏也	じほう
493.2	Tak	循環器用薬の薬物相互作用	高田充隆編	医薬ジャーナル社
493.7	Nak	治療文化論	中井久夫	岩波書店
493.7	Tak	プライマリ・ケア精神医学	武市昌士編	南山堂
493.7	Tak	ナースのための精神医学 改訂第2版	高室昌一郎	南山堂
493.72	Kin	こころに効く漢方	杵淵彰	筑摩書房
493.72	Kob	臨床精神薬理学	小林雅文	南山堂
493.92	Ama	小児用医薬品集	天野輝監修	薬事日報社
493.93	Iwa	小児アレルギー疾患	岩田力編著	中外医学社
494.8	Man	EBM皮膚科	真鍋求他編	文光堂
494.8	Mat	ナースのための皮膚科学 第2版	松尾寿朗編	南山堂
494.8	Tak	アトピー性皮膚炎の最新知識	竹原和彦	医薬ジャーナル社
495	Nip	ナースのための産科学 第12版	日本母性保護産婦人科医会編	南山堂
496.5	Kat	ナースのための耳鼻咽喉科学 第3版	形浦昭克編	南山堂
498	Tas	在宅医療ハンドブック	田城孝雄編著	中外医学社
498.021	Kuw	裸のお医者さまたち	桑間雄一郎	ビジネス社
498.027	Sin	在宅死の時代	新村拓	法政大学出版局
498.04	Kam	がんばらない	鎌田實	集英社
498.04	Tat	死から学び、生を考える	立川昭二他	日本評論社
498.12	Tom	コ・メディカルの医療行為と法律 第2版	富田功一	南山堂
498.12	Wei	医療過誤対策	ポール.C.ワイラー他	青木書店
498.163	Nis	医療・福祉の経営学	西田在賢	薬事日報社
498.4	Iiz	環境運動と政策のダイナミズム	長谷川公一編	有斐閣
498.4	Kon	検証! くらしの中の化学物質汚染	河野修一郎	講談社
498.6	Iiz	ベストと近代中国	飯島渉	研文出版
498.6	Nip	薬剤疫学への第一歩	日本RAD-AR協議会編	エルゼビア・サイエンスミクス
498.6	Nip	病院感染防止マニュアル		オフィスエム・アイ・ティ
498.6	Ono	脳とプリオン	小野寺節他	朝倉書店
499	Iwa	医療薬学1-2		東京化学同人
499	Saw	薬学と社会	沢田康文	じほう
499	Tat	日本の薬学	辰野高司	薬事日報社
499.02	Aok	薬物名出典総索引	青木充夫他著	内藤記念くすり博物館
499.09	Nip	薬局薬剤師:実務研修テキスト上・下	日本薬剤師研修センター編	薬事日報社
499.095	Miy	薬剤師がつくる薬局・ドラッグストアのPOPバイブル	宮本悦子他	じほう
499.095	Nak	日米欧の薬局と薬剤師	中村健編	じほう
499.1	Hir	超薬アスピリン	平沢正夫	平凡社
499.1	Iya	長期投与医薬品便覧 平成13年8月版	医薬情報研究所編	じほう
499.1	Jap	日本医薬品総覧 2001-2002年版	Japan Drugs編集委員会編	メディカルレビュー社
499.1	Mot	添付文書の読み方	望月真弓	じほう
499.1	Nip	重大な副作用回避のための服薬指導情報集4	日本病院薬剤師会編	薬業時報社
499.1	Sek	治療薬マニュアル 2001年版	菊池方利他編	医学書院
499.1	Ste	神と悪魔の薬サリドマイド	トレント・ステフェン他	日経BP社
499.1	Tom	最新治療薬リスト	朝長文弥監修	じほう
499.2	Suz	患者さんによくわかる薬の説明 第4版	鈴木康夫他編	金原出版
499.4	Nak	医薬品の臨床試験とCRC	中野重行他編	薬事日報社
499.5	Oka	世界を動かす日本の薬	岡本彰祐編著	築地書館
499.6	Hok	わかりやすい保険調剤業務 第3版	保険調剤実務検討委員会編	じほう
499.6	Iga	薬剤師のための処方せんの読み方	伊賀立二監修	じほう
499.6	Miy	日本製剤技術史	三宅康夫	じほう
499.6	Nag	医薬品添加物ハンドブック	日本医薬品添加剤協会編	薬事日報社
499.7	Yam	日本の名薬	山崎光夫	東洋経済新報社
499.8	Kim	服薬指導に役立つ基礎からの漢方薬	金成俊	薬事日報社
499.87	Ody	英国ハーブ療法ハンドブック	ベネラビ・オディ	Medic Media
(工学など)				
501.8	Cas	事故はこうして始まった!	S.ケイシー	化学同人
509.8	Yos	多発する事故から何を学ぶか	日本学術協力財団編	日本学術協力財団
519	Dre	ティープ・エコロジー	アラン・ドレンクソン他編	昭和堂
519.04	Koy	いのちの樹の下で	子安美知子他	海拓舎
519.8	McC	地球環境運動全史	ジョン・マコーミック	岩波書店
525.3	Kuw	「良い建築を安く」は実現できる!	桑原耕司	ダイヤモンド社
527	Mat	「いい家」が欲しい。新装第4版	松井修三	創英社
543.5	Kam	原発列島に行く	鎌田憲	集英社
547.483	Mur	eメールの達人になる	村上龍	集英社
547.483	Tak	誰もが知りたいホームページ危ないトリック&トラップ	武井一巳	集英社
576.7	Tam	香粧品科学 第4版	田村健夫他	メディア・テック出版
590	Tat	「暮らす!」技術	辰巳渚	フレグランスジャーナル社
596.65	Mur	ケーキの世界	村山なおこ	宝島社
(産業)				
610	Har	農から環境を考える	原剛	集英社
627.77	Sai	青いバラ	最相葉月	小学館
629.21	Miy	龍安寺石庭を推理する	宮元健次	集英社
645.76	Isi	猫のエイズ	石田卓夫	集英社
(芸術)				
760.4	Sae	読むクラシック	佐伯一麦	集英社
766.1	Kom	オペラ楽園紀行	小宮正安	集英社
772.1	Kan	21	金子達仁	ぴあ
780	Jsp	Jスポーツシリーズ1-10		旺文社

783.7	Kaw	遺言	川上哲治	文藝春秋
786.1	Ara	愉しむ山歩き百の道標	荒川じんぺい	東京書籍
795	Hir	囲碁の知・入門編	平本弥星	集英社
(語学)				
807	Sio	おじさん、語学する	塩田勉	集英社
809.4	Sai	声に出して読みたい日本語	齋藤孝	草思社
810	Kok	よくある「ことば」の質問	国立国語研究所編	国立国語研究所
810	Kok	「ことば」を調べる考える	国立国語研究所編	国立国語研究所
810.4	Nis	インターネットで日本語はどうなるか	西垣通他	岩波書店
830.7	Ura	英語屋さんの虎ノ巻	浦出善文	集英社
830.79	Isi	TOEIC TEST文法別問題集	石井辰哉	講談社
831.1	Kim	30日完成TOEICテストリスニングpart4の解法	木村哲夫他	アルク
831.1	Tan	30日完成TOEICテストリスニングpart2・3の解法	田中宏昌他	アルク
(文学)				
910.268	Yum	命	柳美里	小学館
911.168	Mat	歌集かきくけこ	松本ゆき如他	薫風社
911.32	Aeb	芭蕉	餐庭孝男	集英社
914.6	Has	「わからない」という方法	橋本治	集英社
914.6	Itu	大河の一滴	五木真之	幻冬舎
914.6	Kur	小さいときから考えてきたこと	黒柳徹子	新潮社
914.6	Nak	自分を活かす“気”の思想	中野孝次	集英社
914.6	Oek	「自分の木」の下で	大江健三郎	朝日新聞社
914.6	Oka	自然に学ぶ	岡田喜秋	玉川大学出版部
914.6	Tag	できればムカつかずに生きたい	田口ランディ	晶文社
914.6	Tag	根をもつこと、翼をもつこと	田口ランディ	晶文社
914.6	Wat	渡辺一夫敗戦日記	渡辺一夫	博文館新社
915.6	Han	自由に至る旅	花村萬月	集英社
915.6	Hay	林芙美子巴里の恋	林芙美子	中央公論新社
916	Kaw	河辺家のホスピス絵日記	河辺貴子他	東京書籍
916	Ned	美しいままで	ネーターコールン靖子	祥伝社
916	Sat	種まく子供たち	佐藤律子編	ポプラ社
933	Fie	ブリジット・ジョーンズの日記	ヘレン・フィールディング	ソニー・マガジズ
933	Kay	白い犬とワルツを	テリー・ケイ	新潮社
933	Row	ハリー・ポッター裏話	J.K.ローリング他	静山社
933	Row	幻の動物とその生息地	J.K.ローリング	静山社
933	Row	クイディッチ今昔	J.K.ローリング	静山社
933.7	Man	十二番目の天使	オグ・マンディーノ	求龍堂
(小説)				
S11	Ka	冷静と情熱のあいだRosso	江國香織	角川書店
S11	Ka	東京タワー	江國香織	マガジンハウス
S19	Hi	センセイの鞆	川上弘美	平凡社
S23	Na	玉蘭	桐野夏生	朝日新聞社
S37	Hi	処方箋	清水博子	集英社
S45	No	満水子 上・下	高樹のぶ子	講談社
S46	Ra	その夜、ぼくは奇跡を祈った	田口ランディ文	大和出版
S53	Hi	冷静と情熱のあいだBlu	辻仁成	角川書店
S65	Ke	天の瞳 成長編1-2 幼年編1-2 少年編1-2	灰谷健次郎	角川書店
S72	Yo	愛の領分	藤田宜永	文藝春秋
S72	Yo	邪恋	藤田宜永	毎日新聞社
S84	Ry	最後の家族	村上龍	幻冬舎
S90	Hu	みんないってしまう	山本文緒	角川書店
S93	Ba	体は全部知っている	吉本ばなな	文藝春秋
S96	Ri	インストール	綿矢りさ	河出書房新社

シリーズ名

岩波アクティブ新書
看護のための最新医学講座

出版社

岩波書店
中山書店

【洋書】

分類番号	図書記号	書名	著者名	出版社
103.3	Rit	Historisches Wörterbuch der Philosophie	Joachim Ritter et al.	Schwabe
316.88	Gin	Jüdischer Alltag in Deutschland, 1933-1945	Günther B. Ginzel	Droste
425.5	Cha	Handbook of vibrational spectroscopy v.1-5		John Wiley & Sons
437	Pet	Organic chemistry: structure and function 3rd ed.	K. Peter et al.	W.H.Freeman
437	Sol	Fundamentals of organic chemistry 5th ed.	T.W. Graham Solomons	Wiley
491.349	Les	Endocrinology 4th ed. v.1-3	ed.by Leslie J.DeGroot et al.	Saunders
491.5	Goo	Pharmacological basis of therapeutics 10th ed.	ed.by Joel G.Hardman et al.	McGraw-Hill
499.87	Stu	The encyclopedia of herbs and herbalism	Melcolm Stuart	Edgerton International
589.2	Wai	Berliner chic	Waidenschlager, Christine	
723.34	Ste	Arnold Böcklin, Giorgio de Chirico, Max Ernst		Benteli
732.34	Fri	Gabriele Münter	hersg.von Helmut Friedel et.al.	Prestel
831.1	Oxf	The Oxford dictionary of pronunciation for current English	Clive Upton et al.	Oxford University Pr.
843	War	Wahrig	von Renate Wahrig-Burfeind	Bertelsmann Lexikon Verlag
948	Hof	Operndichtungen	Hugo von Hofmannsthal	S.Fischer
948.7	Bob	Gesammelte Werke in sechs Bänden Bd.1-2,5	Johannes Bobrowski et al.	Deutsche Verlags-Anstalt

【A V 資料】

分類番号	図書記号	書名	著者名	出版社
281.04	NHK	NHKビデオ・プロジェクトX挑戦者たち 1-10	NHK編	NHKソフトウェア
491.72	Bio	バイオセーフティ技術講座 1-6		予防医学推進センター
831.1	Spe	MASTER SPOKEN ENGLISH TAPE 1-9		Speech Masters
494.2	Dea	インサイド・ヒューマンボディ ザ・オペレーションビデオシリーズ		デアゴスティーニ・ジャパン発売

電子ジャーナルとコンソーシアム

インターネット及び電子出版技術の普及と発展は、学術情報流通の形態を変化させ、新たな可能性と課題を生み出している。このような状況の中で、複数の図書館及び学協会が、出版社と協調して、コンソーシアムを形成し、共通の課題を解決しようとする動きが活発になってきている。以下にこれらのコンソーシアムについて紹介する。

図書館コンソーシアム：図書館協力のための自発的な連合組織であり、1930年代に米国で生まれ、1980年代には2次情報データベースの共同契約、共同利用に発展した。1990年代後半から電子ジャーナルの急速な普及に伴い、電子的情報資源の共同契約、共同利用のための連合組織として広がりを見せてきている。

OhioLink：米国オハイオ州の財政支援を受け、独立の運営組織、予算、専任スタッフ、共同サーバーを維持し、購入経費、契約窓口を完全に一本化した集中型コンソーシアム。

NESLI(National Electronic Site License Initiative)：英国の組織。政府の援助を受けず、コンソーシアム運営業務の大部分をマンチェスター大学コンピュータセンターと雑誌取次業者に委託。

国立大学付属図書館電子ジャーナル・タスクフォース：国立大学図書館協議会で組織された委員会。大手出版社と有利なコンソーシアム契約モデルを作成・実施すると共に国立情報学研究所との連携の基礎を築いた。

薬図協電子ジャーナルコンソーシアム：2001年に日本薬学図書館協議会の下部組織として雑誌問題検討委員会が発足。日本医学図書館協議会と連携して、昨年9月に7種のコンソーシアムを提案(表1)。コンソーシアムの形態の多くは現在の冊子体の購読維持が条件であり、参加費を支払うこと

で、購読雑誌以外の電子ジャーナルも閲覧が可能になる。2003年度はさらに7～8種の新しいコンソーシアムが提案されている(表2)。

ICOLC(International Coalition of Library Consortia)：図書館コンソーシアムの国際的な協力組織。2001年12月に「電子的情報の選択と購入をめぐる現在の情勢と望ましい方向への実行策に関する声明」を発表。電子ジャーナルの価格モデルを従来の冊子体をベースにしたものから電子ジャーナルをベースにしたものに転換すべきであること、また、冊子体の購入を電子ジャーナルの契約から切り離してオプションとし、冊子体のキャンセル制限を撤廃するべきであることを提言している。

本学の電子ジャーナル導入状況：本学は2002年度の薬図協コンソーシアムには種々の事情により参加できなかったが、今後、慎重に検討していく予定である。なお現在、本学で利用できる電子ジャーナルは、有料：7タイトル、(Nature, Science, Angewandte Chemie ; International Edition in English など)、冊子体購読者無料：約60タイトルである。この他にOUP(Oxford University Press)提供の電子ジャーナルが閲覧できる。(詳細は図書館ホームページに掲載)

研究者の皆様方の電子ジャーナルコンソーシアムへのご意見をお聞かせいただければ幸いです。

参考資料

- 高田 彰, 情報の科学と技術, 2002, 5(2), 83-87.
- 伊藤義人, 情報の科学と技術, 2002, 5(5), 262-265.
- 母良田 功, 薬学図書館, 2002, 4(2), 168-171.
- 坂上光明, 大学図書館研究, 2002, 8(3), 73-75.

表1

コンソーシアム提案出版社など	2002年度参加機関数 ()は薬図協加盟機関数
American Chemical Society	11 (11) 機関
Blackwell Science/Munkusgaard	18 (3) 機関
Springer-LINK	13 (7) 機関
Lippincott Williams & Wilkins(LWW)	10 (2) 機関
EBSCO Biomedical Reference Collection	4 (2) 機関
CSA International Database Service	0 (0) 機関
Science Direct (エルゼビア・サイエンス社)	16 (0) 機関

表2

コンソーシアム提案出版社など
Marcel Dekker
Gambrige University Press
Annual Review, Inc
Nature
John Wiley & Sons, Inc
Rockefeller University Press
Science

相互貸借システムについて

図書館システムのバージョンアップに伴い、相互貸借システムが変更されてから約半年が過ぎましたが、使い心地はいかがでしょう。

相互貸借とは、本学の図書館に所蔵していない資料を他の図書館などから文献複写や現物貸借などで入手することで、図書館間の相互協力から成り立っているサービスだといえます。本学では、教職員、院生、ポスドクター、研究生の方は、学内のLAN上のパソコンから申し込みができます。新システムへの変更によって図書館側で、よりスピーディな検索と依頼が可能になり、業務の合理化が図られました。

利用を始めるにあたって、今年4月に文献複写依頼方法説明会を2日間開催しましたが、両日合わせて約30名の参加者があり好評でした。今後も定期的開催する予定ですので、新しく利用を始められる方は、是非ご参加ください。

旧システムとの大きな変更点は、利用者の方にできるだけISSNやISBNの書誌固有番号の入力をお願いしていることです。これにより、システムが自動的に所蔵先を検索してくれます。今後もわかる範囲で結構ですので、引き続きご協力をお願いいたします。また、記入上の注意などは図書館ホームページ上に掲載していますので、ご覧ください。

今後の課題としては、

- ・利用者自身が依頼履歴を参照できること

を挙げています。システムのカスタマイズになりますので時間と費用がかかりますが、少しでも利用しやすいシステムになるようにメーカー側と連絡を取りながら改善していきたいと思っています。お気づきの点がありましたら遠慮なくお聞かせください。

なお、学部学生の皆さんはWeb上からの申し込みはできませんが、従来通り3階カウンターで受け付けていますので、お気軽にお申し出ください。

SciFinder Scholarを利用して

製剤学研究室 大学院修士課程2年 山根 育郎

こんにちは、製剤学研究室の山根です。あまり文章が上手ではないので、読みにくかったら「駄目だよ」と優しく言って下さい。

SciFinderを利用して、他の検索ソフトより使いやすいと思う点は3つあります。

検索してヒットする文献が多い(特にPubMedより)

検索する物が図示してあって使いやすい(例 著者)

探している物がピンポイントで検索できる

まず、 ですが今まで製剤学研究室では文献検索にはPubMedかSTN Expressを使っていました。しかしPubMedでは薬理関係がよく検索され、私が研究している範囲(工学系の論文)はあまり検索できませんでした。次に ですが、これが私にとって一番大きかったです。恥ずかしい話ですが、著者で検索したい時にPubMedやSTN Expressでは方法がいまいちよくわからず毎回先生や先輩に聞いていました。SciFinderでは図示してあるので誰が見ても一目瞭然に検索の仕方がわかるので大変使いやすいです。また でも検索した物から更に絞り込みたいときに、 同じように図示してあるので年代、著者名、文献名等から簡単に絞り込めることができます。だいたいこんなところが「なんて使いやすいんだ」と私が思うところです。他にも化学構造などからも検索できると聞きました。きっとまだまだ私が知らないような便利な使い方があると思います。これから図書館で講習会を何回か行くと聞いたので、できるだけ参加したいと思います。

図書館の方々には本当にいつもお世話になりっぱなしで、いつも感謝しております。これからも感謝しつつ、迷惑をかけると思いますがよろしくお願ひします。

薬剤師のためのDI資料 (11)

『内服薬 経管投与ハンドブック - 投与可能薬品一覧表 - 』

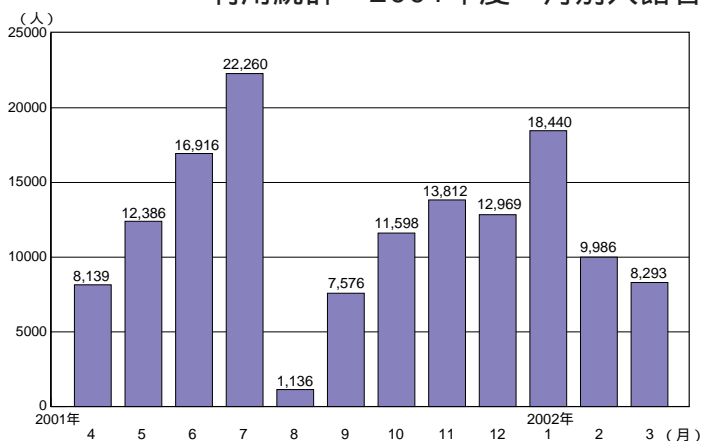
倉田なおみ 執筆
じほう, 2001

本書は、内服薬の新しい経管投与法である簡易懸濁法について書かれた本である。錠剤やカプセル剤の経管投与において、従来粉碎法が中心であったが、チューブが詰まったり、薬品の安定性や薬物動態の問題から粉碎できない医薬品があったりして投与できる薬剤に制限が多かった。著者は、粉碎法にかわる簡易懸濁法を開発し、粉碎法での様々な問題を一気に解決した。さらにこの方法は粉碎法よりも投与できる薬剤の数が多いという非常にすばらしい方法である。

935品目の経管投与可能薬品一覧表が50音順と薬効分類順で記載されており、一覧表には各医薬品の情報が簡潔に記載されている。薬効分類表は、経管投与できない医薬品が処方されたとき、同効代替薬の選択に便利である。また経管栄養チューブを長期に使用する大きな原因のひとつである嚥下障害の基礎知識についても記述されている。本文中には図や表、写真が多く取り入れられており、非常に分かり易く、医療の現場ですぐに役立つようになっている。

長嶺幸子 記

利用統計 - 2001年度 月別入館者総数 (延) -



開館総日数	259日
年間入館者総数	143,511人
月平均入館者数	11,959人
1日平均入館者数	554人

- お知らせ
- 8月1日～9日に蔵書点検を実施いたしました。無断帯出防止装置 (BDS) の効力が奏して、紛失図書の本数が昨年度に比べ大幅に減少しました。紛失図書一覧表を出入口に掲示していますので、お気づきの方はご返却ください。
 - 一般雑誌「Bioベンチャー」、「患者のための医療」の継続購読を開始しています。
 - 院生対象の文献複写依頼方法説明会や、SciFinder Scholar説明会を開催しました。引き続き利用者教育を促進する予定です。図書館サービスでわからないことがあれば、いつでもお尋ねください。
 - カーペットの色のアンケート調査にご協力いただきありがとうございます。合計119名というたくさんの貴重なご意見をもとに、緑色に決定いたしました。これからも利用しやすい図書館をめざし、アンケート調査を実施する予定です。その際は、ご協力願います。
 - 図書館にぜひ備えてほしい図書や図書館への希望がありましたら、4Fカウンター前の箱、あるいは図書館ホームページの「利用者の声受付」から投書ください。皆様のご意見をお待ちしています。

- 編集後記 -

- ・この号にご協力いただきました皆様に感謝いたします。また、今回始めて大学院学生の方にも執筆していただきました。どうもありがとうございました。
- ・カーペットによって図書館のイメージが変わり、ご好評をいただいております。この秋も図書館で有意義な時間をお過ごしください。